

第3章 エリア別の現状分析と取組みの方向性

(1) エリア設定の考え方

- 港区は、三方を海と川に囲まれ、東西方向の区域中心線上に Osaka Metro 中央線弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅の3駅が立地しており、この駅を中心とした、半径1 kmの円に収まる範囲をエリア設定し、エリア別の現状分析と今後のまちづくりの方向性について検討することとします。
- なお、大阪港駅周辺の西部（築港・天保山）エリアについては、平成30年3月に「築港・天保山エリアまちづくり計画」を策定していることから、当該計画に沿った施策を展開してまいります。

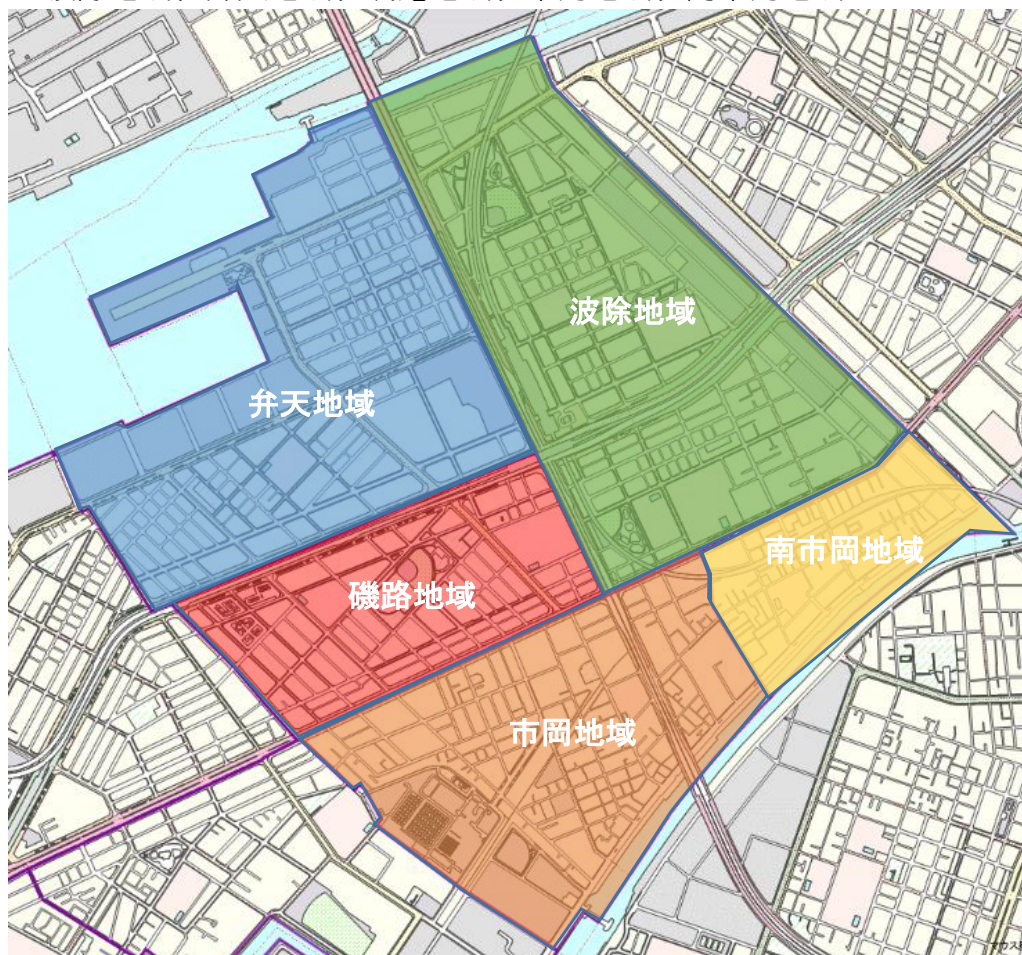
(参考) 築港・天保山まちづくり計画

<https://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000527222.html>

(2) 東部エリア

【東部エリアの対象地域】

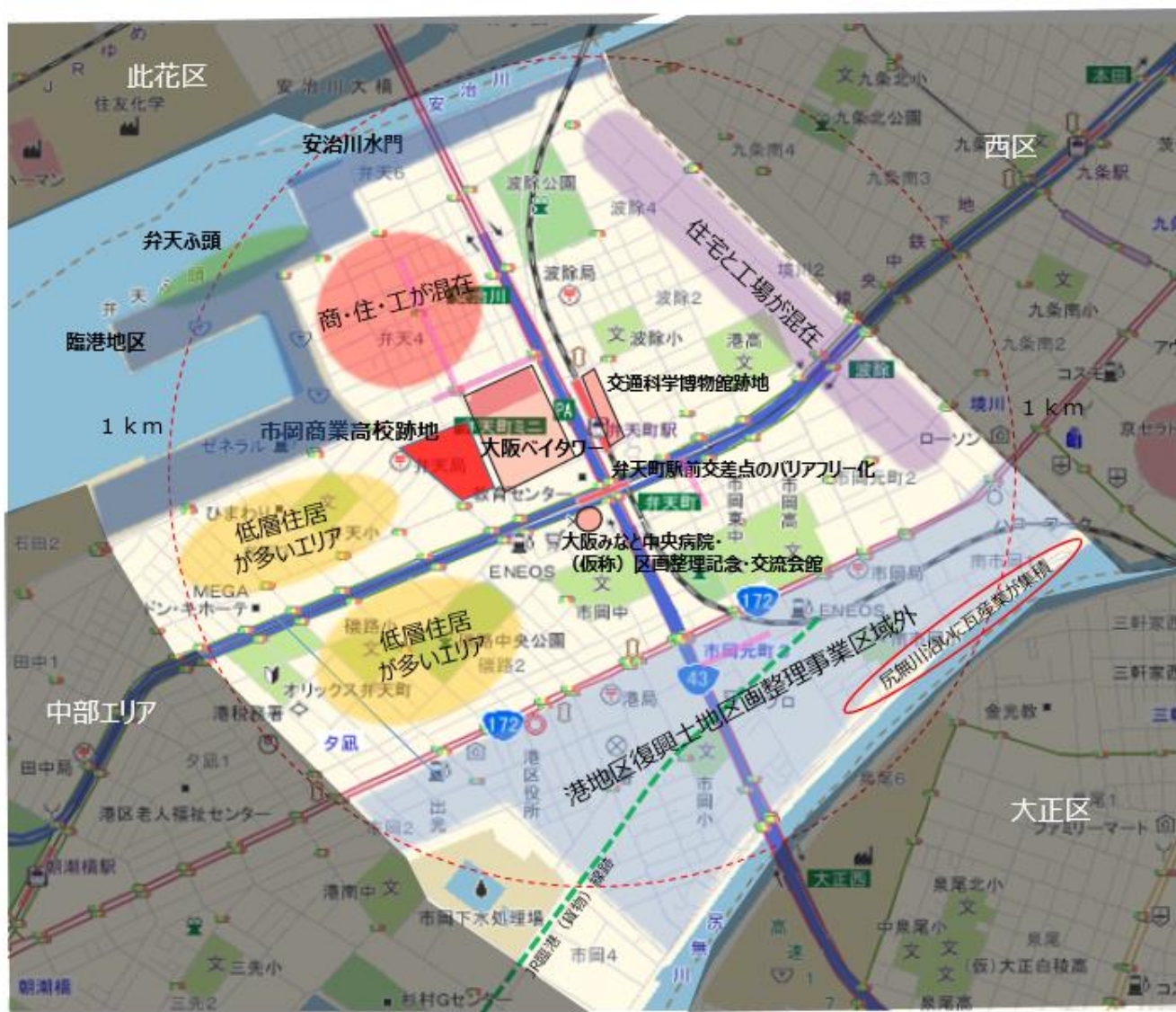
波除地域、弁天地域、磯路地域、市岡地域、南市岡地域



○東部エリアの概要

- 弁天町駅周辺は、JR 大阪環状線及び Osaka Metro 中央線が交差する交通結節点であるとともに、区の東西軸である中央大通と南北軸である国道 43 号の主要幹線道路が交差する交通の要衝地となっています。
- また、複合施設である大阪ベイタワーを中心に、弁天町駅前土地区画整理記念事業として、大阪みなと中央病院（令和元年 9 月移転開院）及び（仮称）区画整理記念・交流会館の建設も進められ、港区の玄関口としての拠点形成が進んでいる一方で、市岡商業高校跡地の売却や弁天町駅前交差点地下道のバリアフリー化が課題となっています。
- 西区との境界付近は、ものづくり企業が多く立地するエリアですが、近年、住民の都心回帰の動きを受け、マンション等の建設が進行し、住宅と工場が混在してきています。
- 尻無川沿いにある南市岡地域は、準工業地域として瓦産業などが集積する特色ある街並みを形成し、水辺の利活用のポテンシャルを有していますが、一方で、港地区復興土地区画整理事業の区域外だったため、地盤高が低いため、防災上の課題を抱えています。
- 弁天ふ頭については、平成 7 年に定期航路が廃止されたことでターミナル機能が失われ、周辺のにぎわい形成が課題ですが、旧加藤汽船ビルにおいてアート工房やデザイン事務所などが入居し、個性的な取組みがされています。

東部エリアの概要図



(画像出典：マップナビおおさをベースに加工)

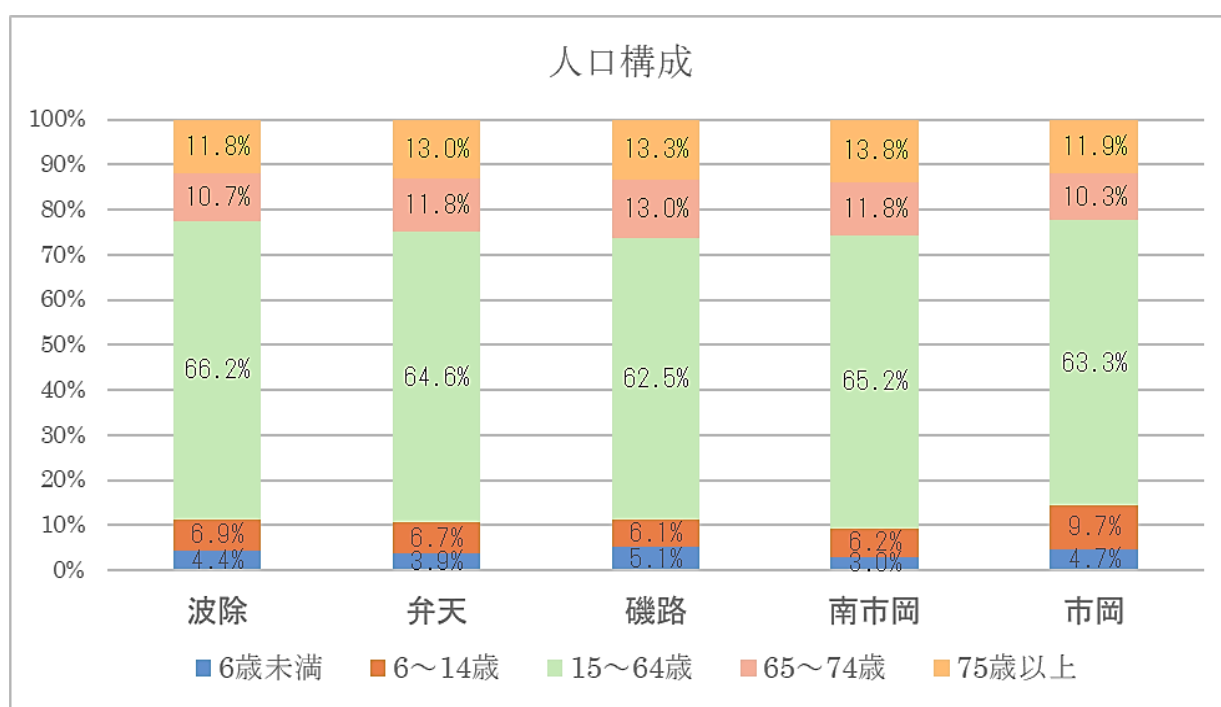
○人口動態

- 東部エリアを構成する5地域は、弁天町駅圏内にあり、交通の利便性やスーパーなどの生活利便施設が多いことから、人口合計は44,807人と、区全体の人口の半分以上を占めています。
- 地域別にみると、波除地域が最も人口が多く、工場から住宅への転換も進んでいることから、近年は人口の増加がみられます。
- 高齢化率が高い地域は、磯路地域及び南市岡地域となっており、他の地域と比較すると新規の住宅建築が少なく、若い世代の流入が少ないものと考えられます。
- 15歳未満の世代が最も多い地域は市岡地域となっており、子育て層の居住ニーズが高まっているものと考えられます。

令和2年3月（住民基本台帳）地域別人口一覧表

（単位：人）

	波除		弁天		磯路		南市岡		市岡	
6歳未満	4.4%	618	3.9%	455	5.1%	342	3.0%	93	4.7%	450
6～14歳	6.9%	973	6.7%	784	6.1%	411	6.2%	194	9.7%	922
15～64歳	66.2%	9,281	64.6%	7,586	62.5%	4,179	65.2%	2,023	63.3%	6,031
65～74歳	10.7%	1,495	11.8%	1,390	13.0%	866	11.8%	366	10.3%	985
75歳以上	11.8%	1,656	13.0%	1,528	13.3%	889	13.8%	429	11.9%	1,138
計		14,023		11,743		6,687		3,105		9,526



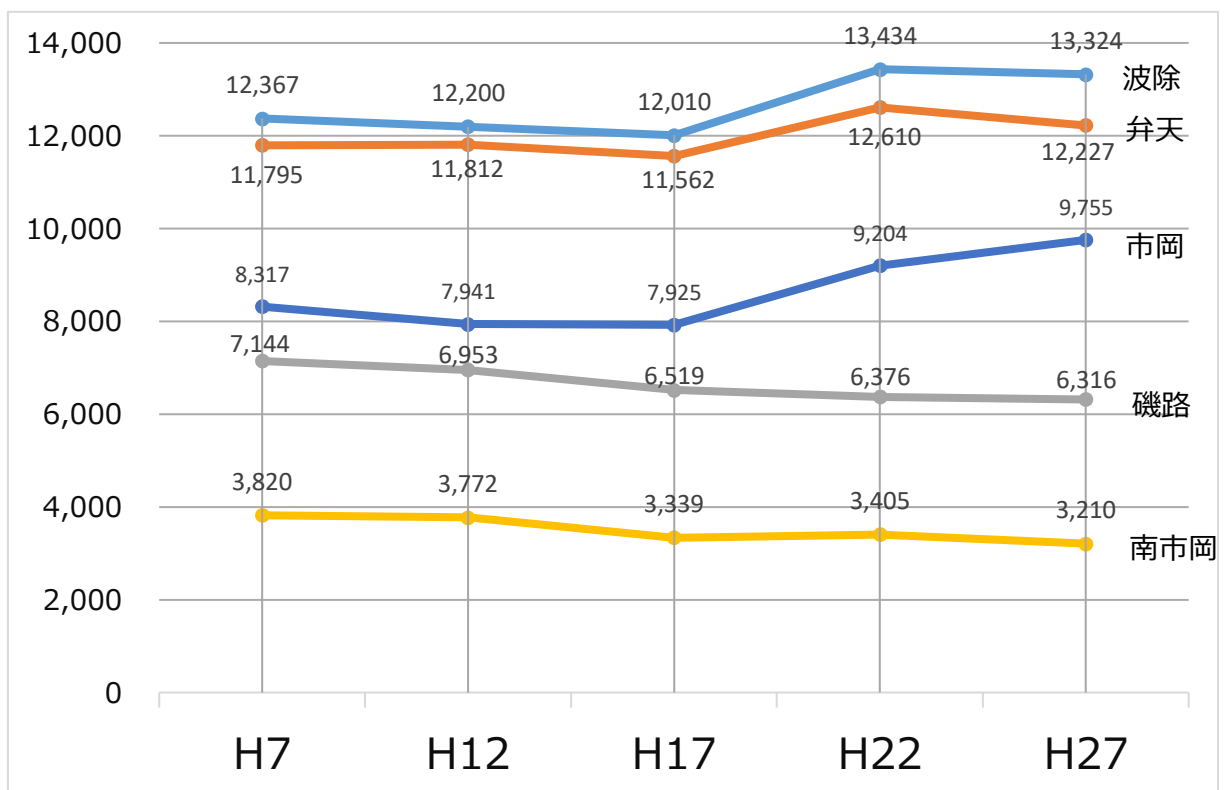
（出典：住民基本台帳人口）

地域別人口の推移（国勢調査結果）

（単位：人）

地域名	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
波除	12,367	12,200	12,010	13,434	13,324
弁天	11,795	11,812	11,562	12,610	12,227
磯路	7,144	6,953	6,519	6,376	6,316
南市岡	3,820	3,772	3,339	3,405	3,210
市岡	8,317	7,941	7,925	9,204	9,755

（単位：人）



（出典：国勢調査）

○小・中学校の状況

- ・小学校は 5 校あり、波除小学校の普通学級の合計は 18 学級と区内でも最も多い学級数となっています。
- ・弁天小学校、市岡小学校の普通学級数は、全学年で複数学級を維持していますが、児童数については減少傾向となっています。
- ・南市岡小学校、磯路小学校の普通学級数は、複数の学年で 1 学級となっています。
※平成 30 年 4 月から南市岡 3 丁目の校区が市岡小学校から南市岡小学校に変更されています。

校名	普通学級							特別支援学級
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	
波除	3	3	3	3	3	3	18	6
弁天	2	2	2	2	3	3	14	5
磯路	2	2	2	1	2	1	10	3
南市岡	2	2	2	1	1	2	10	4
市岡	2	2	2	2	3	3	14	5

(出典：令和 2 年度学校現況調査 令和 2 年 5 月 1 日現在)

- ・東部エリアに立地する中学校は 2 校あり、市岡中学校の普通学級の合計は 15 学級と区内で最大の学級数を有しています。
- ・市岡東中学校の普通学級の合計は 8 学級となっており、令和 6 年度から南市岡 3 丁目の中学校区が市岡から市岡東に変更する予定であることから、生徒数は現状を維持するものと見込まれます。

校名	普通学級				特別支援学級	(参考) 小学校区
	1 年	2 年	3 年	合計		
市岡東	3	3	2	8	4	波除、南市岡 1～2
市岡	5	5	5	15	6	弁天、磯路、市岡、南市岡 3

(出典：令和 2 年度学校現況調査 令和 2 年 5 月 1 日現在)

○市営住宅の状況

- ・東部エリアについては、波除住宅が1棟198戸、波除第2住宅が8棟787戸建設されており、全て耐震改修または継続活用となっています。

大阪市営住宅ストック総合活用計画（別冊）港区東部エリア抜粋

計画	戸数	団地名（号館）
耐震改修	743戸	波除第2（1,2,4～8）
継続活用	242戸	波除（1）、波除第2（3）

○商店街

- ・東部エリアにおける港区商店会連盟に加入している商店街は、市岡元町商店会、オーク弁天商店会、繁栄商店街の3か所となっています。

○イベント等のにぎわい形成

- ・東部エリアでは、大阪ベイトワースのアトリウム広場や港区民センターなど公共空間において、多様なイベントが開催されています。
- ・また、繁栄商店街では、第1土曜日に繁栄ワイワイ市場が開催され、継続的な地域活性化の取り組みが行われています。

東部エリアで実施されている主なイベント

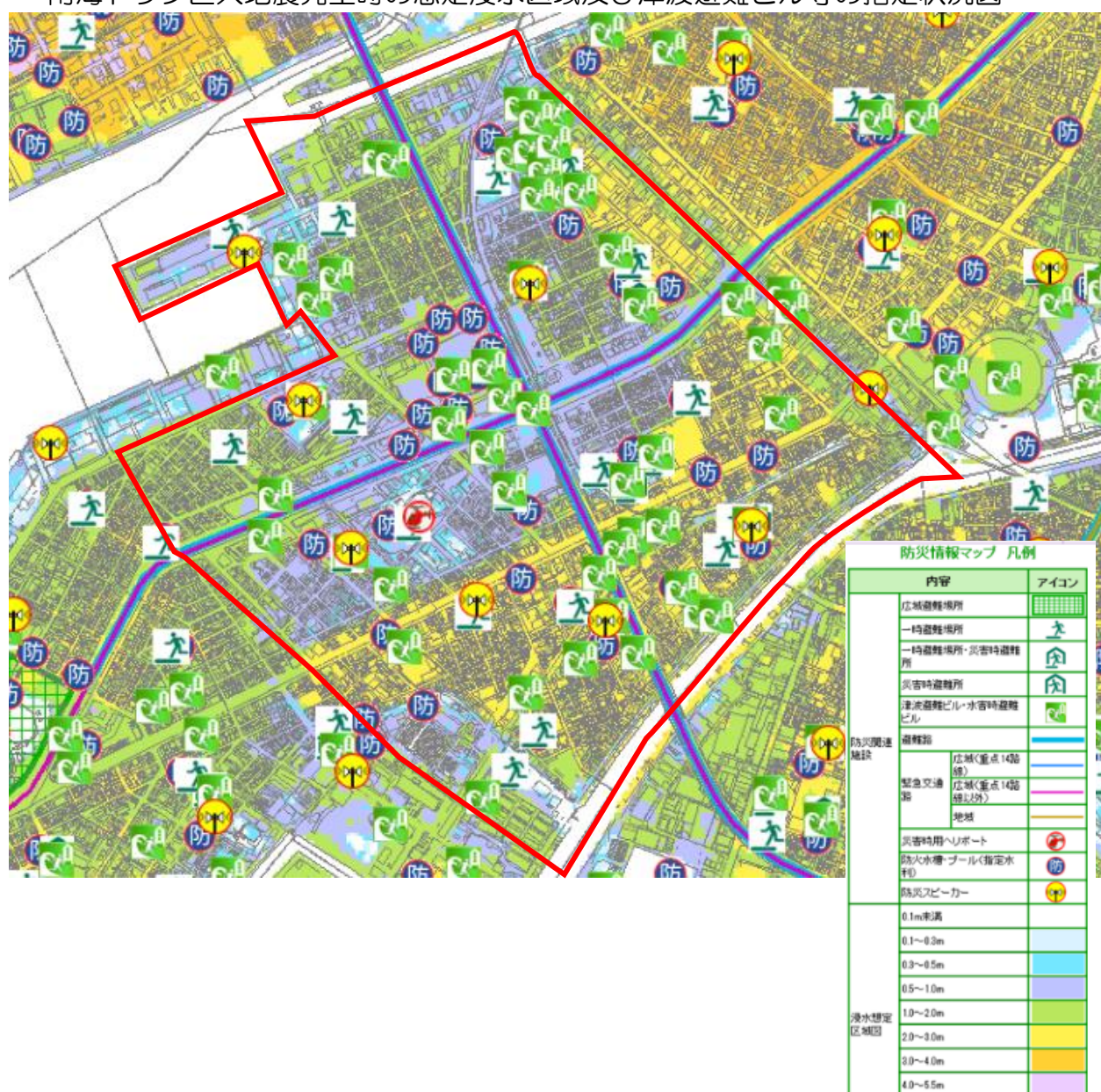
イベント名 （開催時期等）	主催	実施場所	イベント概要
弁天まつり （4月開催）	弁天地域活動協議会	大阪ベイトワースアトリウム	弁天地域の活性化を目的とした地域主体のにぎわいづくりイベント
POP BAY ～まちのフードコート～ （月1回開催）	ポップベイ運営パートナーズ	大阪ベイトワースアトリウム	定期マーケットと季刊誌発行を通じて弁天町エリアの魅力を伝え、エリアの価値向上に取り組む

イベント名 (開催時期等)	主催	実施場所	イベント概要
繁栄ワイワイ市場 (第 1 土曜日開催)	繁栄商店街振興組 合	繁栄商店街	地域コミュニティの場づくり として、商店街以外の事 業者も参加し定期的に 開催
港区ふれあい音楽会 (9 月開催)	港区ふれあい音楽会 実行委員会・港区役 所	大阪ベイトワ ーアトリウム	地域コミュニティの促進を 目的にしたイベント。区内 の高中小吹奏楽部が出 演する演奏会。
港区民文化のつどい (11 月開催)	港区民文化のつどい 実行委員会・港区役 所	ゆめホーム 「ゆめ」かなえ る港区民セ ンター	地域コミュニティの促進を 目的にしたイベント。区内 で活動するサークル等が 参画し、作品展示や舞 台発表を実施。
春いちばんふれあいフェ スティバル (2 月開催)	春いちばんふれあいフ ェスティバル実行委員 会・港区役所	ゆめホーム 「ゆめ」かなえ る港区民セ ンター	地域コミュニティの促進を 目的にしたイベント。主に 生涯学習推進員港区連 絡会が中心となり、作品 展示や舞台発表を実 施。
こどもパラダイス (3 月開催)	みなとわんぱくまつり・ こどもパラダイス実行 委員会・港区役所	ゆめホーム 「ゆめ」かなえ る港区民セ ンター	地域コミュニティの促進を 目的にしたイベント。子ど も会等の団体が参画し、 様々な遊び体験を実 施。
うたごえ広場ぽっぽ (月 1 回開催)	ムーチャ・大阪市コミュ ニティ協会港区支部 協議会・ねこじゃらし 音楽事務所	ゆめホーム 「ゆめ」かなえ る港区民セ ンター	高齢者の健康増進を目 的に実施するイベント。

○防災

- 南海トラフ巨大地震による津波が来襲した場合に想定される浸水区域は、港地区復興土地区画整理事業区域内においては、盛土によるかさ上げを行っているため1.0m 未満の浸水区域が多いですが、弁天地域や波除地域につきましては、1.0m～2.0m の浸水が想定されています。
- また、市岡地域や南市岡地域の港地区復興土地区画整理事業区域外や波除地域の一部については、2.0m～3.0m程度の浸水が想定され、低層住宅が多いエリアについては、一時避難できる場所のさらなる確保が望まれます。

南海トラフ巨大地震発生時の想定浸水区域及び津波避難ビル等の指定状況図



(画像出典：マップナビおおさか)